

おじゃまします！

移動博物館・出前授業 ～その5～

県立郷土館では、学校や各種団体を対象に、移動博物館や出前授業を行っています。

この連載では、移動博物館などの郷土館の活動について、実際の使用例などを交えてご紹介します。

今回は、昨年度も利用の多かった、小学校5年の出前授業「昔の米作り」の利用例を紹介します。

この出前授業は、バケツ稲や学校田で米作りを行っている学校からの申込みが特に多く、「社会科」や「総合的な学習の時間」での利用に適しています。

一口に米作りといっても、田起こし、代かき、種まき、田植え、水管理、草取り、稲刈り、脱穀、精米・・・と、その作業は一つ二つではありませんので、これらの作業に関わる資料の解説と体験活動をいっぺんに行うのは困難です。

そこで、学校には、何度ご利用いただいてもかまわないので、バケツ稲や学校田の作業期にあわせて利用することを呼びかけています。

作業の中で、実際に申込みが多いのは、何といっても「昔の脱穀」です。

郷土館には実際に使用できる「こき竹」「千歯コキ」「足踏み脱穀機」のほか、箕・唐箕・臼・チリトバシなどの脱穀用具がたくさんあります。これらを使って実際に自分たちで育てた稲の脱穀を行います。ただ作業するのではなく、道具の進化や工夫されている点などを考えながら活動していきます。



【昔の脱穀 足踏み脱穀機】

子どもたちからは「稲刈りすれば、すぐ食べられると思ってじゃ」「広い田んぼの米を全部手でやってたのか～、大変だったんだな～」という声が次々と上がります。また、普段あまり米のありがたさを意識しない子どもでも、改めて昔の農作業の大変さを実感し、「今日の給食、わ（私）は米粒残さねんで（残さないで）食う！」と先生に話している子もいました。

移動博物館・出前授業は、学習のねらいに応じて、展開や資料・体験内容を工夫して授業を行いますので、安心してご利用ください。

申込み・ご相談は、県立郷土館学芸課までお気軽に。

○ 問合せ・申込み先

青森県立郷土館 学芸課

TEL. 017-777-1585 FAX. 017-777-1588

ホームページアドレス <http://www.pref.aomori.lg.jp/kyodokan/>